



会社概要書

株式会社AMANE

お問い合わせはコチラ info@amane.ltd

機密・専有情報

株式会社AMANEによる個別の明示的な承諾を得ることなく、この資料を使用することを固く禁じます。

株式会社AMANE

社名：株式会社AMANE

資本金：100万円

創業：2019年1月

代表：代表取締役 井上佳三

理念：あまねく人々にゆきわたり

価値がめぐる仕組みをつくることで

人の暮らしをうるおすこと

本社所在地：東京都港区芝公園1-2-20 組田ビル5F

TEL：03-6452-8228

事業内容：アーバンテックに関する事業開発

(サービス開発、システム開発、空間設計)

主要取引先：トヨタ自動車、神姫バス、大阪市高速電

気軌道株式会社、トヨタファイナンシャルサービス、

九州電力、NewsPicks、ゼンリンデータコムなど

AMANEについて

AMANEについて

わたしたちが目指すこと

あまねく 人々にゆきわたり

価値が**めぐる** 仕組みをつくることで

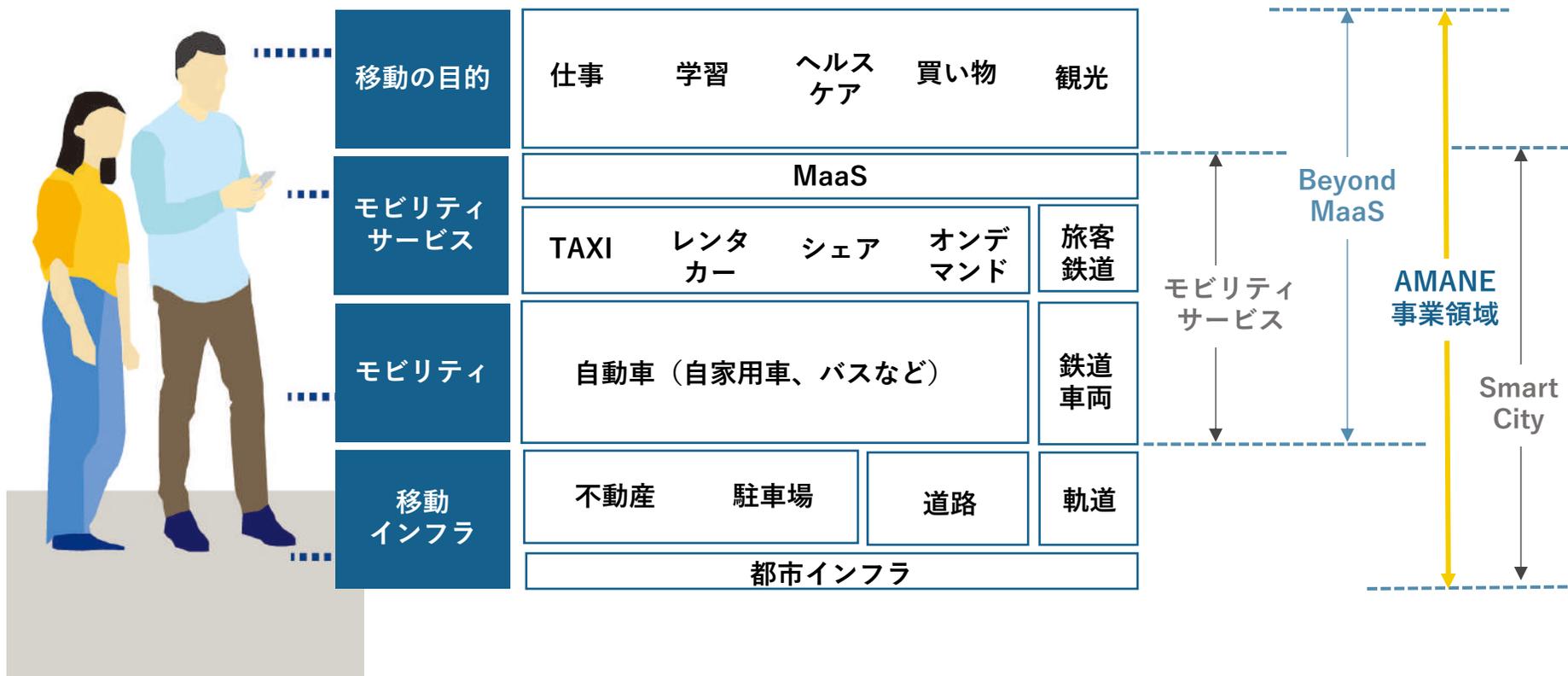
人の暮らしを**うるおす** こと



【渎】 あまね/シヨウ

あまねし。ひろくゆきわたる。
めぐる。ひとめぐりする。
とおる。
うるおす。うるおう。

背景：モビリティ業界の変化



関連会社：自動車新聞社

関連会社「自動車新聞社」

92年間にわたり

自動車・交通産業の

川下から川上まで精通。

自動車新聞社の沿革

- 1929.4 森崎了三により兵庫県自動車運送事業組合の機関誌として「神戸自動車新聞」を創刊。
- 1929.9 「神戸自動車新聞」が第三種郵便許可を取得。
- 1941.8 「兵庫県自動車運送事業者名簿」を創刊。
- 1944.3 戦時中の新聞統制により終刊。
- 1946.6 芝野順一により「兵庫自動車通信」として再開。
- 1946.11 現在の「自動車新聞」に改題し第1号を発刊。
- 1948.8 「自動車新聞」として新たに大三種郵便認可を取得。
- 1957.12 「兵庫県カーディーラー拠点マップ」創刊。
- 2009.8 現WEBサイト「自動車新聞社ニュース」を運営開始。
- 2012.4 モビリティビジネス機関誌「LIGARE」創刊。
- 2012.11 電子版「LIGARE」開始。
- 2018.11 LIGARE.Newsによりニュース配信を開始。



AMANEについて

関連会社：自動車新聞社

LIGARE
ひと・まち・モビリティ



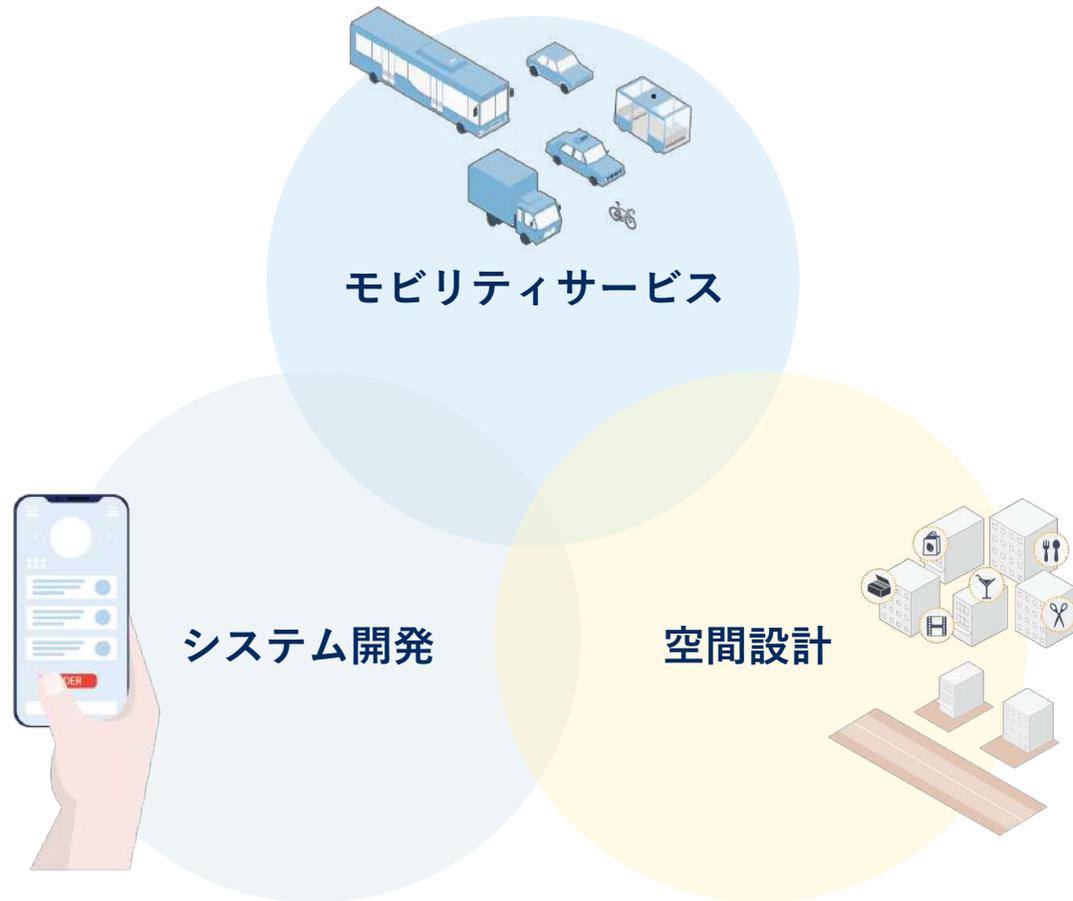
ひと・まち・モビリティがテーマの
メディア「LIGARE」
国内で唯一の
モビリティサービス専門媒体

- PV数：約200,000/月
- 会員数：約3,200人
- 配信先：News Picks、Smart News、Google News



AMANEについて

AMANEの強み：多様な専門性



MISSION：領域を横断した次の時代のまちづくり

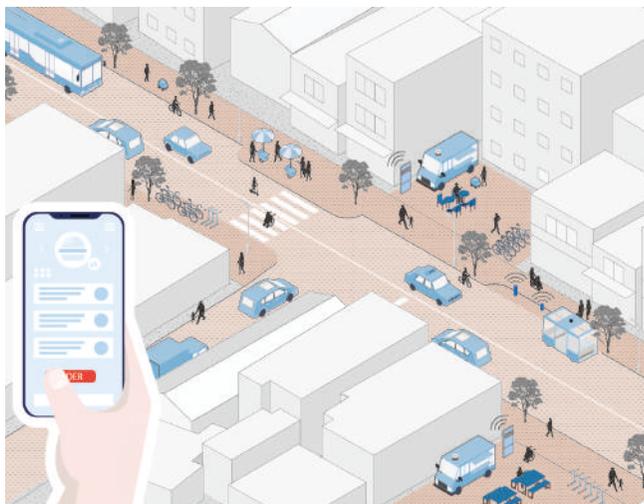
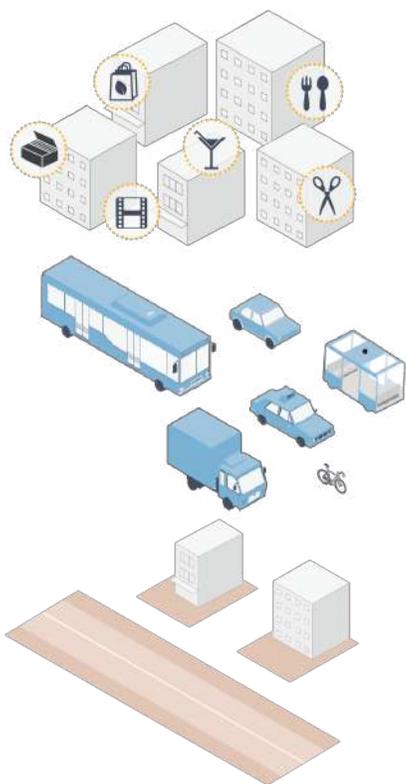
現在



少し先の未来

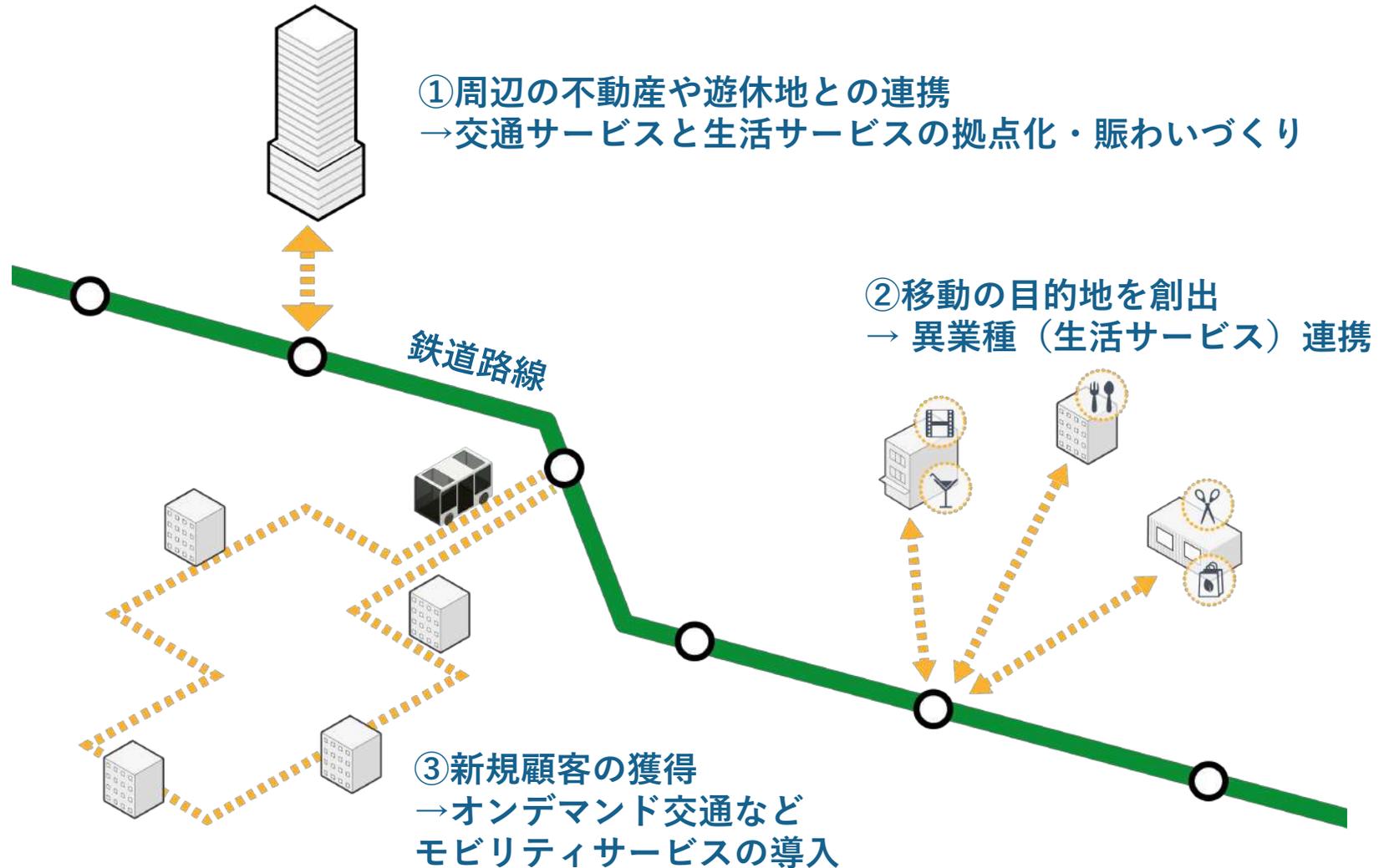


未来



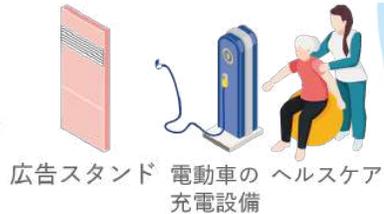


事業領域の事例（交通分野）



事業領域の事例（インフラ分野）

多種多様な可動サービス

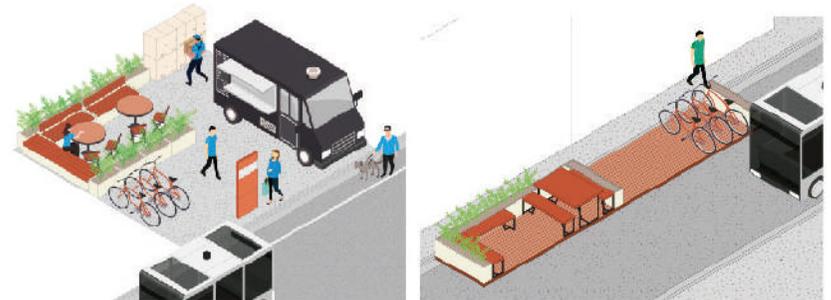


AMANE
サービスを束ねる+
空間設計



多種多様な場所

- ・サービスの掛け合わせで良い場所を開拓 & 集客の相乗効果
- ・可動サービスで時間やニーズに合わせて営業



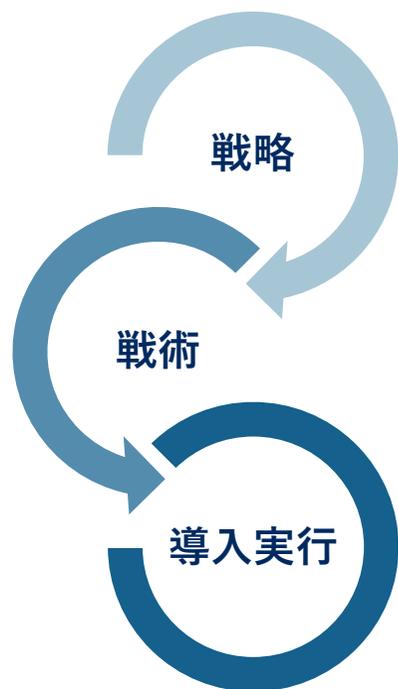
- ・サービス提供を多彩化することで場所の価値向上、集客アップ、収益アップ
- ・可動サービスで、場所に最適なサービスを柔軟に提供

AMANEの強み：情報とネットワーク



VALUE

次の3つの価値観を大切にします



現場を知る専門家の集団である

私たちは、モビリティサービスの専門家、システム開発の専門家、建築・都市の専門家など、異分野の専門人材を集めています。それぞれが専門の知識・経験を磨きながらも、お互いの分野を理解し合い、連携することを大切にします。

常に開拓精神を

これからの社会では、新しい技術の社会実装、異業種間連携、縦割り分野の融合など、新しいスキームでプロジェクトを進めることがより一層求められています。私たちのチームは、柔軟な発想で新しい領域に果敢に挑戦することを大切にします。

とことん考える

机上や想像で考えるのではなく、実際に現地に足を運び、現物を見て触れる、自分で見て、自分で考えることを大切にします。また、地域で暮らす人や、事業者様など、関わる方々との密なコミュニケーションをとり、思いを尊重することを大切にします。

事業概要：戦略～戦術～導入実行まで

調査

プロジェクトの前提となる
事前調査

- 先行事例の調査
- 海外動向調査

協業支援

アライアンス支援
事業共創支援

- パートナー企業とのアライアンスのサポート
- 事業協創の支援

サービス 開発

モビリティサービスの
企画開発と導入支援

- オンデマンド交通実装支援
- Beyond MaaSの企画・実装支援
- 自動運転実装とビジネス開発の支援

システム 開発

アプリやサイトの
企画開発

- カーシェアリングアプリの開発
- 電子交通チケットなどのアプリ開発
- 位置情報を活用した会員サービスアプリの開発

空間設計

ハブや車室空間などの
企画設計

- 道路の使い方企画設計
- モビリティハブの企画設計

その他

PR・マーケティング
※自動車新聞社で実施

- コーポレートサイトのリニューアル
- モビリティ関連のコンテンツ企画と制作（動画・テキスト）
- デジタルマーケティングの支援（コンテンツマーケティング）

AMANEについて

主要取引先

モビリティ関連会社



公共交通事業者



コンサルタント会社



システム開発会社



その他



実績紹介

サービス開発・協業支援

大手鉄道会社のMaaS実装支援 コンサルティング

業務期間：2019～

【ポイント】

既存交通事業からモビリティサービス事業へ転換する為、新たなモビリティサービスの導入支援を行った。MaaS導入のサービス開発や、パートナー選定なども支援。アライアンス支援も行い、新規事業の開発支援も行った。

モビリティ分野全般に関する
アドバイザー業務

モビリティ分野に関するリサーチ業務、
有識者（キーマン）の紹介

モビリティサービスPoCの企画立案と
座組構築、実証内容作成、実施支援

他社との事業連携のための企画資料の作成

他社の事業提携の支援

サービス開発・協業支援

交通結節点におけるモビリティハブの構築と賑わい作り

期間：2021.03～

オンデマンドバス ～2021年、平野・生野で実証実験スタート予定～

- これまでは限られたバス停(●)と限られた路線図、時刻表に基づいた運行
- 300mメッシュ毎にバス停(●)を新設 そのバス停を路線に限らず自由に運行アプリを通じた呼び出しに応じて運行

なかなかバスが来ない

行きたいところまで最後は歩き

運行ルートを変化させながら運行

呼べばすぐにバスが来る

目的地までバスで行ける

乗継ハブを想定した 他社連携の実証実験

駅／バス停／にぎわいの結節点
「乗継ハブ」

2021年 Osaka Metro × フードトラック
から 交通 × 他サービス 連携もスタート
MaaSアプリとも連携

Osaka Metro は、交通の乗継結節点となる出戸バスターミナルにフードトラックを誘致し、2021年3月18日（木曜日）からサービスを開始します。

交通と生活サービスを繋げる Osaka MaaS 事業の取組みの一つとして、出戸バスターミナルでオンデマンドバス・地下鉄・路線バスを乗り継がれる際等に、時間を有効に活用して、お楽しみいただけるようフードトラックによるサービスを提供します。

また、スマートフォン用アプリ「Osaka MaaS 社会実験版」との連携強化を図るため、2021年3月下旬にアプリのバージョンアップを行い、乗換検索結果上でフードトラックの出店状況を紹介いたします。

Osaka Metro では、他の事業者とのパートナーシップなど、多種多様なビジネスを組み合わせることで、2025年度までに100のビジネスモデルの創出を目指しており、今回の取組みは新ビジネスへの発展可能性を探るものです。今後も様々な新規事業やサービスを開発し、大阪の発展に貢献していきます。

※ 販売スタッフの検温、アルコール消毒、マスク着用等、感染防止対策を徹底します。

1 出店日時
2021年3月18日（木曜日）から毎週「木曜日」・「土曜日」（出店日は、予告なく変わる場合があります）
11時から14時

フードトラックイメージ

サービス開発・協業支援



【結果】 顧客は、バスターミナル利用者よりも周辺住民の利用が多く、バスターミナルを拠点とした周辺住民との新しい接点づくりが出来ており、バス停がバス利用以外の目的地になっている。常連客が出来ており、ユーザーコミュニティが形成されている。



将来的に、交通結節点を乗り換えだけの場所ではなく、生活サービスのと交通サービスの拠点に変えていく第一歩。

サービス開発・協業支援

スマートシティ潮芦屋「そらしま」にて
モビリティを活用したタウンサービスの実証実験を開始



Prime Life Technologies

Panasonic Homes



業務期間：2021.05~08

【ポイント】

プライム ライフ テクノロジーズ様が実施している、モビリティを活用したタウンサービスの実証実験。スマートシティ潮芦屋「そらしま」にて、移動サービスを活用した住宅地での賑わい創出と、生活サービスの提供により、住民のQOL向上を目指します。弊社では、空間設計を担当しました。

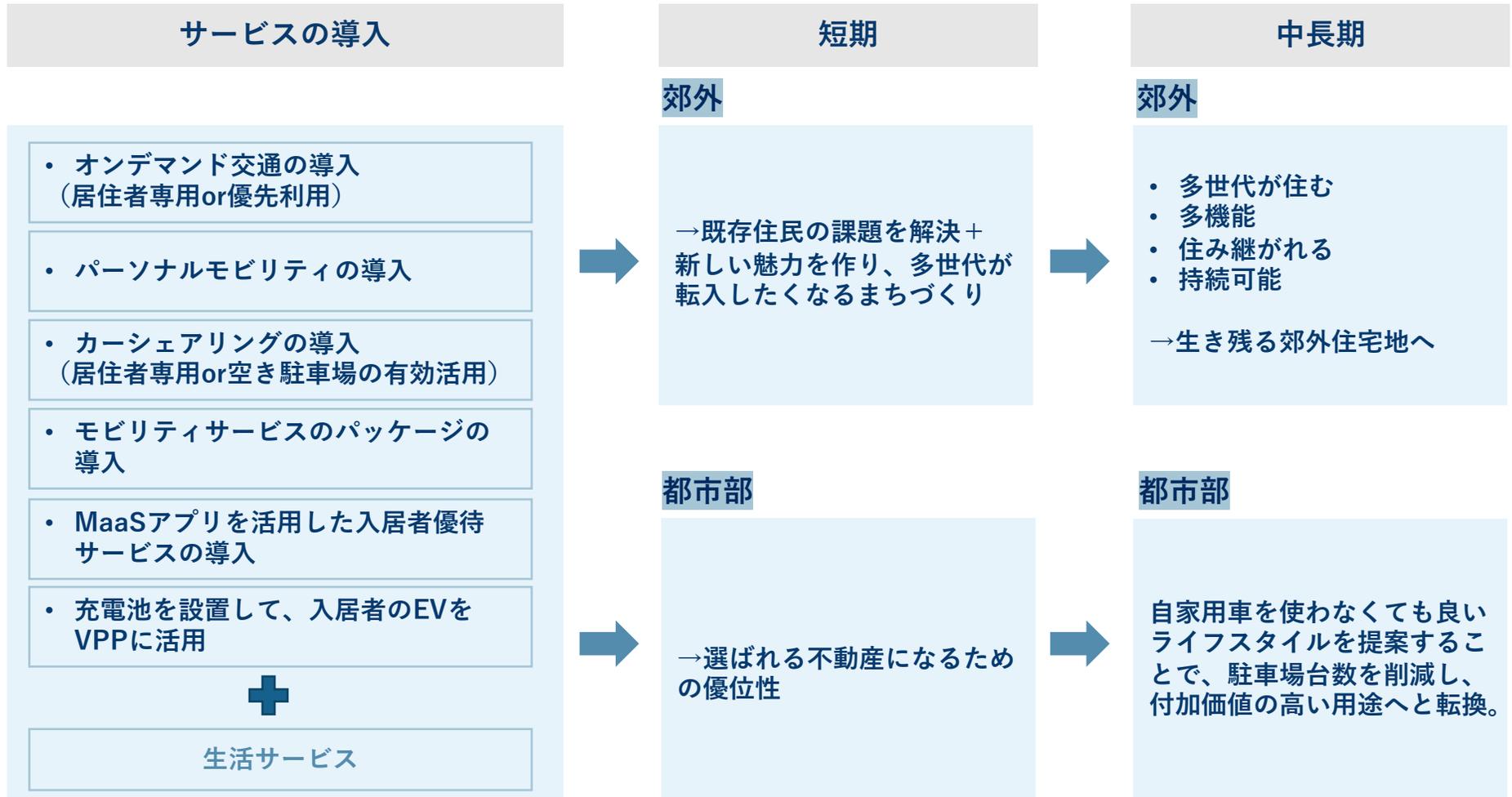
サービス開発・協業支援

場所作りのポイント

- 様々なモビリティの安全な動線分離。
- 移動サービスが出店していない時も、利用者に認知してもらう工夫
- コンテンツの変化に柔軟に対応できる設え。

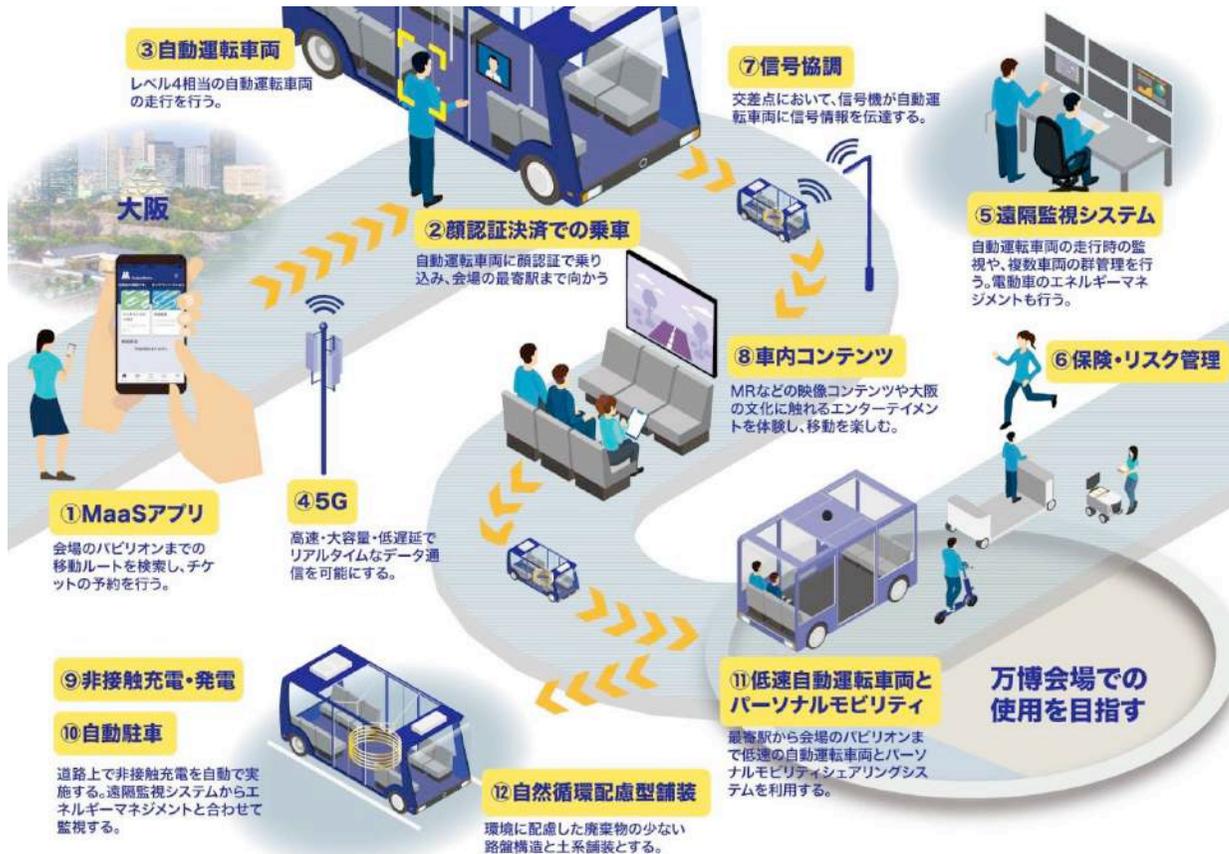


今後のMaaS×不動産の可能性



サービス開発・協業支援

自動運転を活用した未来社会の実装検討



業務期間：2021.04~

【ポイント】

2025年大阪・関西万博会場内外輸送に関する自動運転車両の提供を目指し万博輸送の模擬テストコースを構築し、自動運転車両の実用化に向けた技術と安全を含めたサービスの検証を実施する。弊社ではOsakaMetro様に対して、企画とPMOのサポートを担当しております。

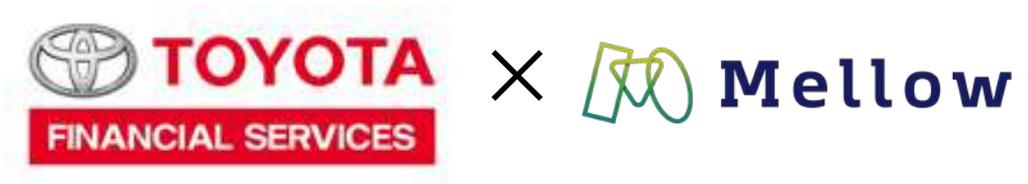
実績紹介

協業支援

トヨタファイナンシャルサービス×Mellowのアライアンス支援

【ポイント】

トヨタグループとMellowとの事業の協創ポイントを整理し、相乗効果のある事業領域に関する事業開発を支援した。代表の井上が社外取締役就任している。



実績紹介

協業支援

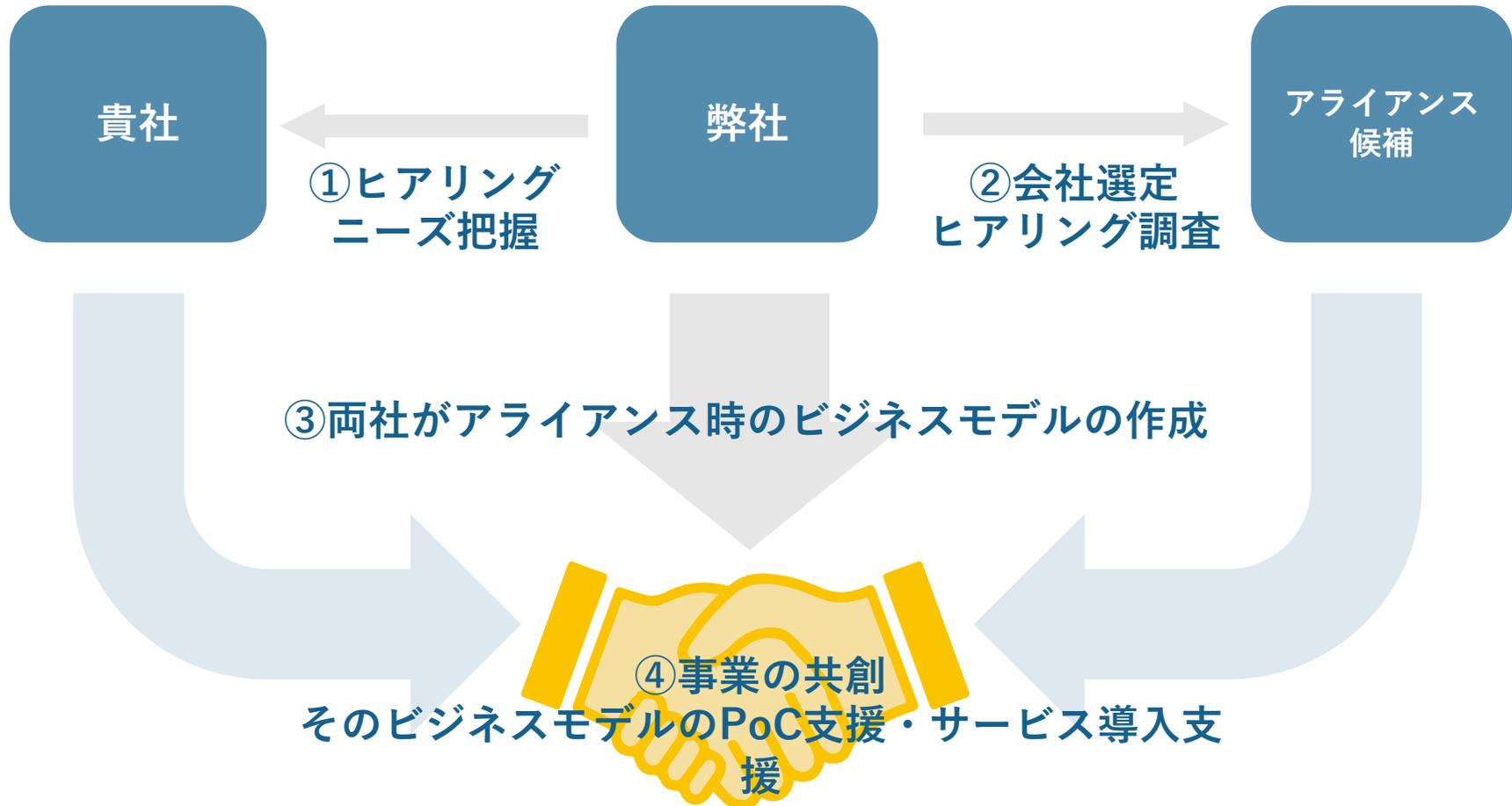
HONDA × dwangoの アライアンス支援

【ポイント】

約2年にわたりモビリティサービスの開発支援を行い、異業種連携による自事業開発の支援を行った。継続してアライアンス候補企業のリサーチ、選定を行い、協創時のビジネスモデルの検討などを支援した。



協業支援



協業支援



システム開発

MaaSを意識した汎用性高い電子チケットアプリの開発

クライアント：神姫バス

機能：現場への負担(作業とコスト)を出来る限り減らし、紙の乗車券を電子化し、利用履歴、送客履歴を確認することを目的に絞った電子乗車券アプリ。

弊社の業務：周遊チケット、クーポン、回数券、位置情報連動、決済、QR読込などの企画と開発PM



システム開発

手軽にカーシェア事業を開始できるカーシェアリングアプリの開発

クライアント：ディーラー

機能：既存のカーシェアリングシステムを活用し、フロントアプリを開発し、設計。会員登録、車両検索、空き状況、予約、決済、免許証の登録・確認などが行えます。

弊社の業務：カーシェアリングアプリの企画・開発を支援。サービス設計から、マーケティング、企画、デザイン、開発、ストア公開までを担当。



システム開発

位置情報によるポイント(マーケティング)アプリの開発

クライアント：コングロマリット企業

機能：ユーザーは移動距離・歩数・特定地点(ジオフェンス)への訪問により、ポイントを獲得。ポイントは特定企業グループのクーポンに変換して利用可能。ユーザーの位置・気候に応じたサービス券も自動配信。日々の歩数や、移動履歴を地図上で確認することも可能。

弊社の業務：位置情報を使用したポイントアプリの企画・開発を支援。要件定義から、仕様策定、開発、ストア公開までを担当。一からスクラッチで開発。

The image shows a promotional banner for the 'veBee' app. The banner features a smartphone displaying the app's interface, which includes a bee character and various icons. Text on the banner includes 'ダウンロード free', 'Download on the App Store', and 'GET IT ON Google Play'. A pink speech bubble says 'スマホでお得に! 新アプリ登場!' (Get it on your smartphone! New app launch!). Other text includes 'コインを集めて クーポンをもらえるなんて お得すぎ!' (Collect coins and get coupons, that's so profitable!), 'アプリを入れて いつもの場所に 向かうだけ。' (Just install the app and head to your usual spot.), and 'veBee とは?' (What is veBee?).

veBee とは?

空から見守るミツバチが、あなたのライフスタイルに合わせてどんどんコインを集める。集めたコインはお好きなクーポンと交換!

- 01** いつもの生活でコインがもらえる
GPSをONにして移動するだけで自動的にシルバーコインがもらえます。
- 02** お店などにチェックインでコインがもらえる
veBeeスポット (特定の場所) に立ち寄り指定のポイントでアプリを起動。ゴールドコインがもらえます。
- 03** コインをためてクーポンGET!
コインがたまればお好きなクーポンと交換できます。

※veBeeスポットは随時更新予定

その他、お得なサービス券も状況に応じて発行されます。

システム開発に関する弊社の強み

サービス企画から
システム開発まで

クライアントの抱える課題、将来の目標を徹底的に把握し、
システム開発だけでなくサービス開発まで行います

経営戦略から
現場実装まで

クライアントの経営戦略を深く理解しながらも、
現場に寄り添い、サービス実装の落とし込みまで伴走します

シンプルな機能

必要最低限のシンプルな機能でDXを推進します

官公庁委託業務のPMO

農研機構PJの事務局

(半自走式草刈りロボットの開発)

事業名：上山集落みんなの農業プロジェクト

メンバー：国立研究開発法人産業技術総合研究所、株式会社筑水キャニコム、太洋産業貿易株式会社、特定非営利活動法人英田上山棚田団

弊社の業務：企画書作成、公募申請書等必要書類作成、議事録等作成、スケジュール管理、そのほか事務局機能的作業



2017年04月11日

1台50万円の無人草刈りロボット、農水省が官民共同開発

規模拡大で障害の除草管理を自動化

1シェア 1ツイー いいね18 6+ 1 11ブックマーク0 Pocket 5 +フォロー

日経工業新聞

農水省は官民共同で、低価格の無人草刈りロボットを開発する。現在の草刈り機は人が運転する乗用型で、1台当たりの価格は100万円程度。これを必要な機能のみに絞り込みつつ、無人型にすることで50万円と大幅に引き下げる。2016年度補正予算を定めて、実用化の時期は、19年度末がめど。農水省の規模を拡大する上で障害となっている除草管理を自動化し、労働力不足の課題を扱う。

農水省は産業技術総合研究所、茨城県岡原町（懐徳町産南町）、キャニコム（徳島県うきは市）などと共同で、無人草刈りロボットの開発に取り組む。

中山間地の農業は、草刈り作業が大きな負担になっている。平らな地の水田と違い斜面も多いため、ロボットの導入が難しく作業でけがをするケースもある。乗用型の草刈り機では、断壊した場合に大事故につながる恐れがあるという安全上の懸念もある。こうした課題を踏まえ、無人型ロボを開発した。

官公庁委託業務のPMO

環境省委託事業の事務局

(グリーンスローモビリティのドアパネル・交換式バッテリーの開発)

事業名：セルロースナノファイバー等を活用したグリーンスローモビリティの導入実証委託業務

期間：令和元年度、令和2年度

メンバー：日立バッテリー販売サービス、太洋産業貿易株式会社、トクラス、レニアス

弊社の役割：企画書・契約書・成果報告書の作成、スケジュール管理、環境省や地域交通事業者との対応窓口



実績紹介

自治体の委託事業

沖縄県交通政策課の 調査事業委託

事業名：大型MICE施設に係る公共交通
検討業務

期間：令和2年度

メンバー：株式会社中央建設コンサルタ
ント、計量計画研究所、AMANE

弊社の役割：マリンタウンMICEエリア
内外の交通手段をつなぐターミナル機能
等の整理



メンバー紹介

メンバー紹介



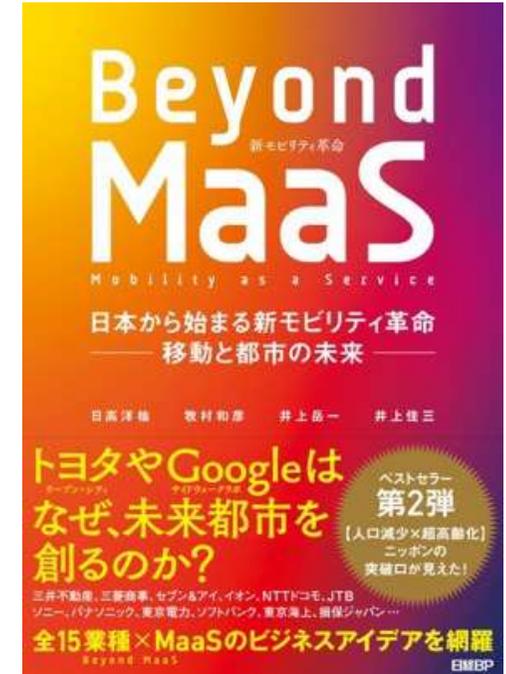
井上 佳三

株式会社AMANE
代表取締役

株式会社自動車新聞社
代表取締役

得意領域：自動車産業に関わるビジネス開発、モビリティサービス全般

経歴：自動車新聞社 代表取締役 兼 LIGARE編集長 2007年、自動車新聞社入社。立命館大学OIC総合研究機構客員研究員。モビリティサービスの専門誌「LIGARE」(リガーレ)を立ち上げ、移動の質の向上がQOLの向上につながることをモットーに数多くのモビリティを取材。18年からはLIGARE.Newsを立ち上げ、「ひと・まち・モビリティ」に関わるニュースを配信している。15年には立命館大学でFuture Mobility研究会に参画し、豊かなモビリティ社会実現を目指す。現在は、モビリティサービスについて「伝える・ツナグ・創る」を実践



MaaS社会実装推進フォーラム アドバイザー

メンバー紹介



斉田 貴好

株式会社AMANE
取締役

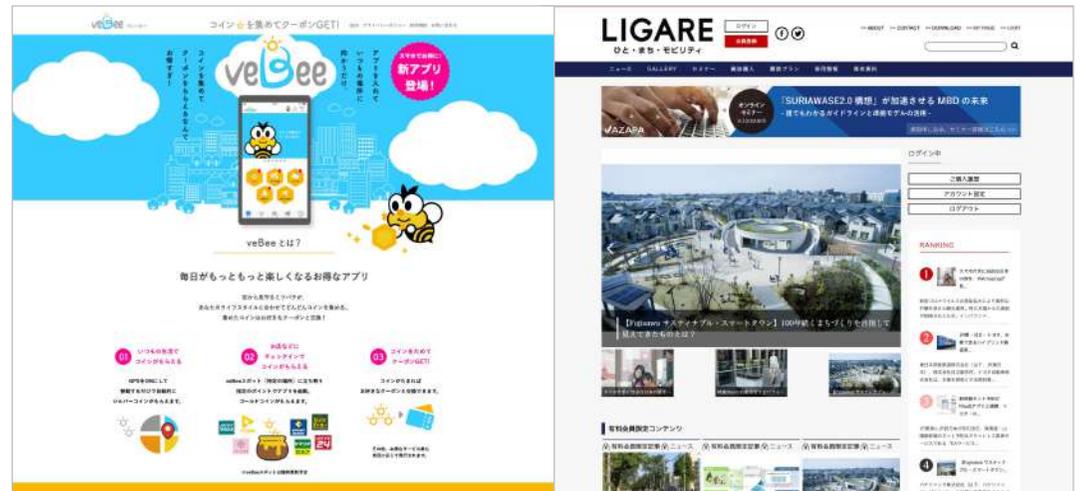
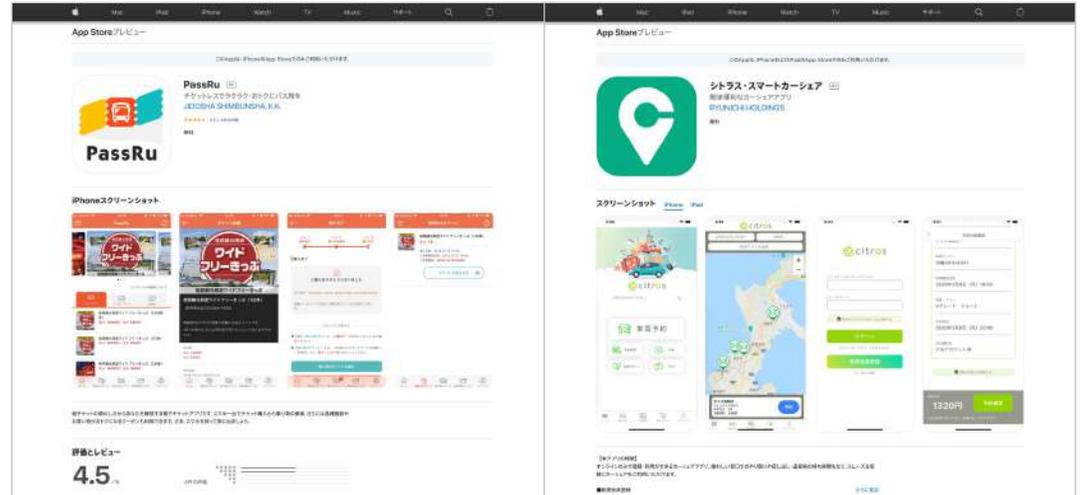
株式会社自動車新聞社
取締役

得意領域： 移動や位置情報に関わるアプリから業務システムまで

経歴： 株式会社自動車新聞社 CTO

千葉大学理学部卒業後、大手系システム会社にて通信バックボーンシステムの構築に従事。その後組み込み系や業務系システムの構築を経て2015年に自動車新聞社へ参加。現在は主にフルスタックのWebシステムからスマートフォンアプリまでの制作及びマネージング、LIGARE.Newsのシステムグロースを行う。

エンジニアリングとマーケティング・営業目線の両方からシステムを提案・構築することを強みとしている。デジタルの力で人間や自然にコントロールを取り戻し、少しでも弱者に寛容な世界にしたい。



メンバー紹介



齊藤 せつな

株式会社AMANE
取締役

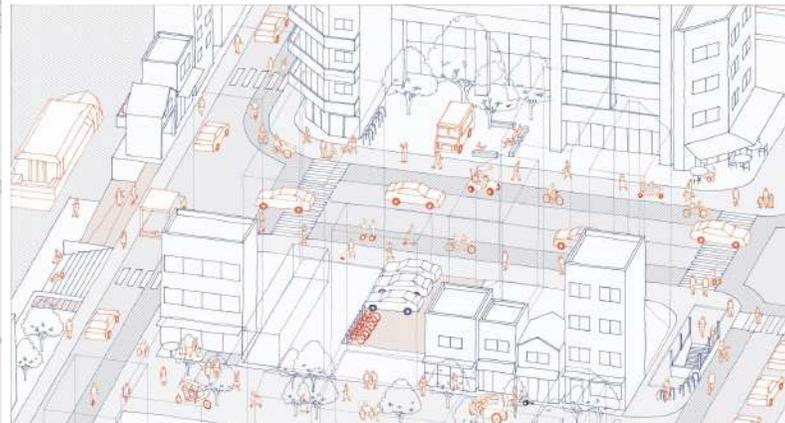
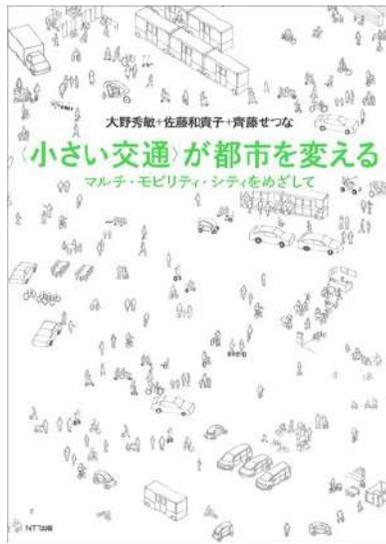
株式会社自動車新聞社
取締役

一級建築士

得意領域：都市デザイン、建築、都市交通

経歴：

東京大学大学院にて都市デザイン・建築設計の研究を行う。大学院での修士論文を元に「小さい交通が都市を変える」を出版。都市構想家・建築家である大野秀敏氏の建築設計事務所にて建築設計・都市デザインの仕事に従事した後、現職。一級建築士。



メンバー紹介



佐藤 和貴子

株式会社AMANE
株式会社自動車新聞社

得意領域：都市デザイン、建築、都市交通

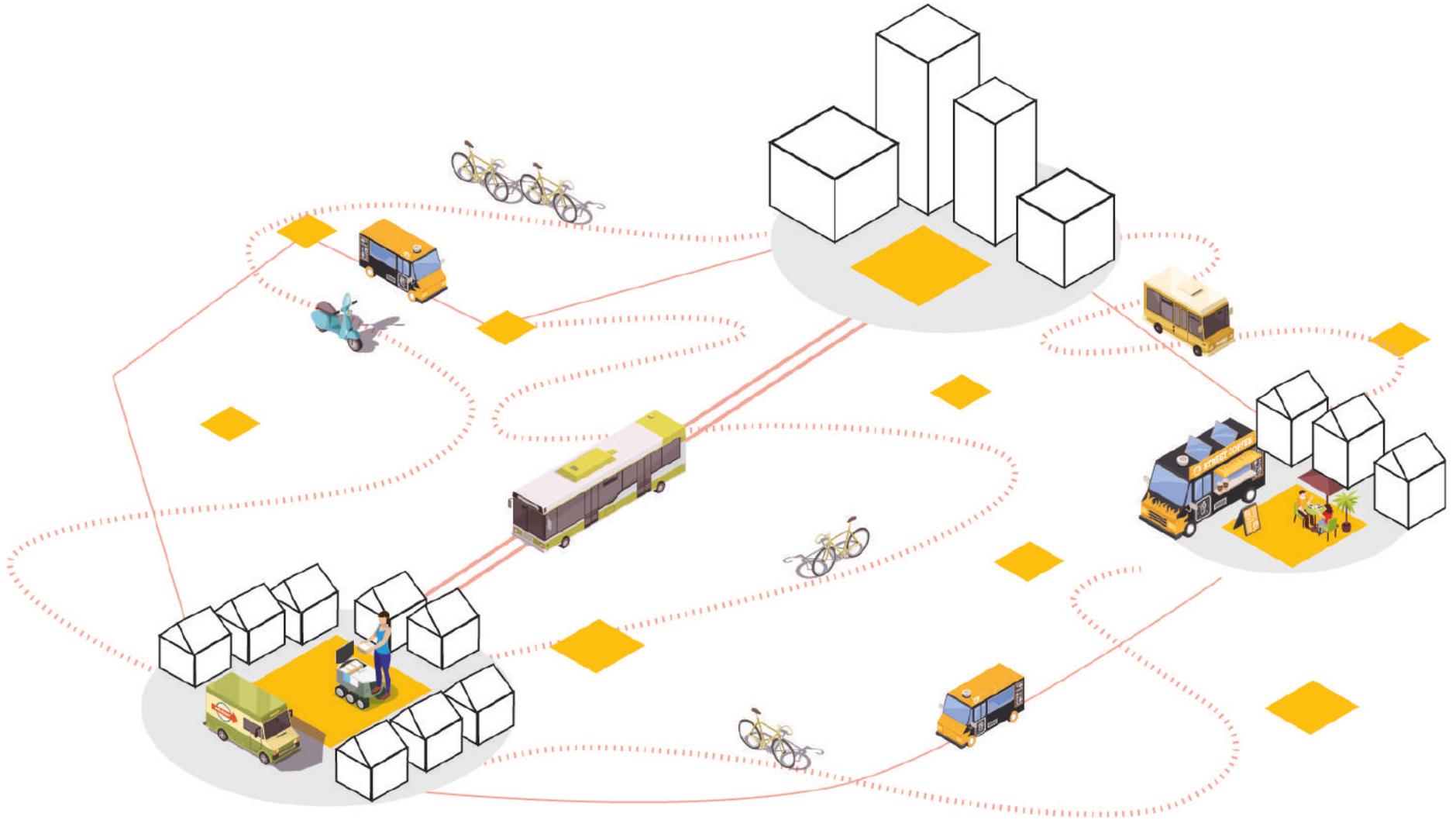
経歴：

東京大学大学院にて都市デザイン・建築設計の研究を行う。大学院での修士論文を元に「小さい交通が都市を変える」を出版。ロンドンとダブリンの建築設計事務所にて建築設計・都市デザインに従事。香港の設計事務所では北海道・ニセコや東南アジアのプロジェクトに携わったのち、現職。

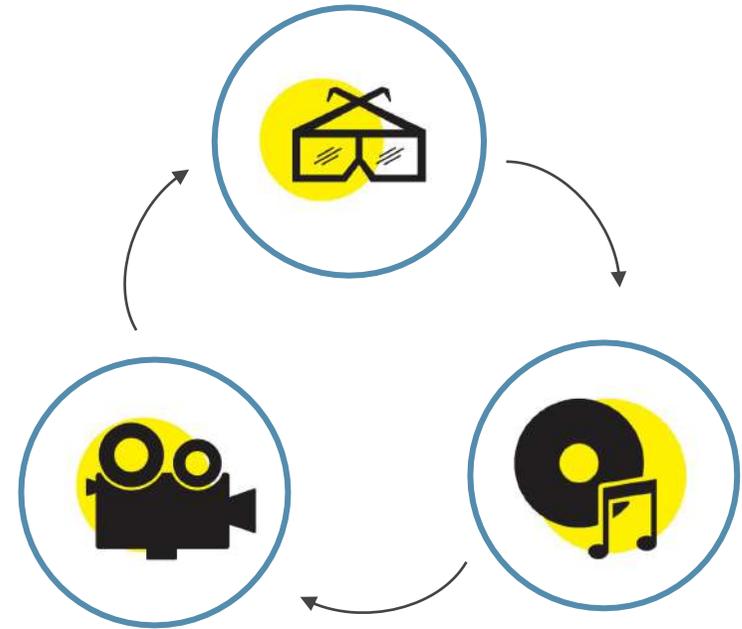
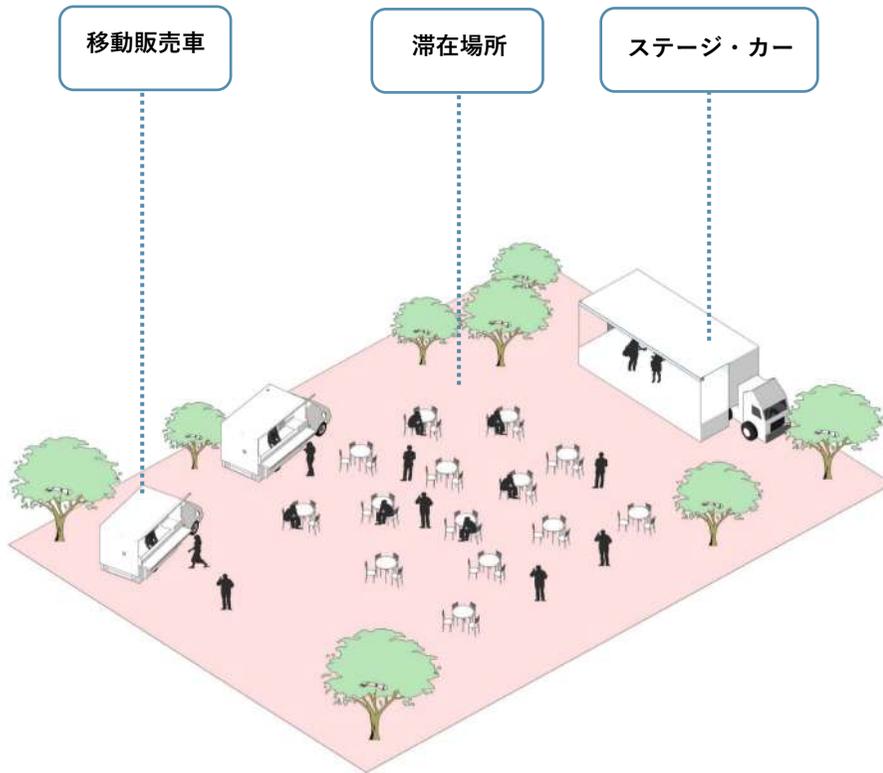


Appendix

エリア全体でのモビリティとサービスのマネジメント



販わい創出を支援

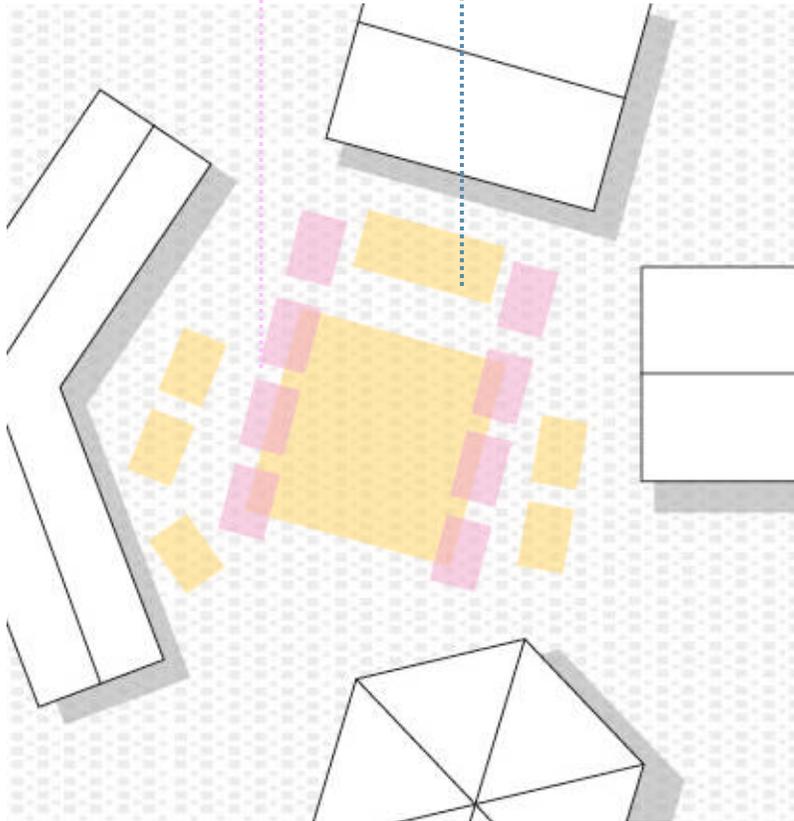


週替わりエンターテイメント

インフラ設計を支援

マルシェ時

コンサート時



広場 レイアウト図 ダイアグラム

モビリティハブの実装と運用支援

- ① オンデマンドバス乗降所
- ② オンデマンドバス駐車場
- ③ 待合所
- ④ オープンカフェスペース
- ⑤ フードトラック駐車場
- ⑥ 電源スポット
(フードトラック営業用、
地域配送EV充電)
- ⑦ 移動サービスを活用したイベントのためのスペース
- ⑧ マイクロモビリティシェアポート
- ⑨ 広告配信
- ⑩ 公共wifi
- ⑪ スマートポール
- ⑫ 避難所・避難設備



POINT 01

“移動ハブとしてのディーラー店舗”への拡張

デマンド交通の出発地&停留所、カーシェアスポットとしての機能を持つ

POINT 02

“生活拠点としてのディーラー店舗”への拡張

“機能の幅出し”により、ThirdPlaceとしての機能を持つ

POINT 03

顧客の移動&購買データ利用

ソリューションの提供、街づくりや更なるサービスの拡充に向けたフィードバック

